

令和6年度組織目標

部局名	総合企画部
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○基本構想・総合戦略の推進、未来を見据えた政策の企画</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ★主要プロジェクト等の着実な推進 ・大阪・関西万博開幕に向けた着実な準備 ・北の近江振興プロジェクトの着実な推進 ・県立高専の設置に向けた取り組みの着実な推進 ・世界から選ばれる滋賀の多文化共生社会づくり ・県史編さん事業の推進 ・地域課題の解決につながる再エネ導入の推進 ・人権意識の高揚 ・手のひらスマート県庁の推進 ・EBPMの支援
	<p>○未来を展望するための知見の集積および企画力の強化</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2060年を見据えた「滋賀のグリーンな経済・社会と変わる豊かさ・幸せ研究」による滋賀の将来像の展望、政策・施策の方向性の言語化

所属名	企画調整課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○基本構想（総合戦略）の推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略の10年の総括および総合戦略と基本構想実施計画の一体化へのスムーズな移行 ・2026年以降を見据えた施策の構築および国等への提案・要望の実施
	<p>○未来を展望するための知見の集積および企画力の強化</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2060年を見据えた「滋賀のグリーンな経済・社会と変わる豊かさ・幸せ研究」による滋賀の将来像の展望、政策・施策の方向性の言語化
	<p>○大学・企業連携のさらなる推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会課題を解決する新分野への挑戦、理系人材の裾野拡大など、大学・企業連携による魅力あるひとづくりや産業振興、地域活性化の推進
	<p>○広域連携の活用</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各圏域知事会議等の機会を捉え、本県の独自課題に留まらず圏域全体の向上に資する取組の検討 ・広域行政推進会議や隣県との知事懇談会等を活用した北陸圏・中部圏における連携事業の推進
	<p>○【見直し・効率化】 施策構築の見直し</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的・効果的な施策構築に向けた見直し、基本構想実施計画の進行管理等におけるAI活用の試行

所属名	万博推進室
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○2025年4月13日の大阪・関西万博開幕に向けた着実な準備</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外からの万博参加者に滋賀の魅力を体感いただける出展内容の制作と運営準備 ・滋賀の未来を担う全ての子どもたちへの万博体験の機会提供 ・多様な主体との共創によるオール滋賀での万博参加 ・万博レガシー創出に向けた下地づくり

所属名	新駅問題対策・特定プロジェクト推進室
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○県北部地域の目指すべき姿の実現に向けた事業の検討と北の近江振興プロジェクトの着実な推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係部局や地域との連携による、県北部地域の活性化に資する新たな事業の検討 <p>○クラウドファンディングを活用した事業活動への支援による関係人口の増加</p> <p>目標：</p> <p>クラウドファンディング活用型北の近江振興補助金の対象事業の応募者数：300人</p> <p>○【見直し・効率化】ペーパーレス事前協議の推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方向感の共有や事前の方針協議などにより、資料作成の精度を向上するとともに手戻りを減らし、レスポンスを向上することで関係者との円滑な連携を進める。

所属名	高等教育振興課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○公立大学法人の組織および運営のあり方検討と大学教育環境の充実</p> <p>目標：</p> <p>県立高専の設置に向け、複数の高等教育機関の設置者として必要となる法人の組織および運営のあり方について法人と連携しながら検討を進めるとともに、計画的な施設整備など、教育環境整備の充実を図る。</p> <p>○滋賀県立高等専門学校基本構想2.0の具現化</p> <p>目標：</p> <p>2028年4月開校に向けて、選ばれる高専となるよう基本構想2.0やこれまでの検討をカタチ（校地の造成工事および校舎等施設の設計の開始、校長予定者の選任、教員の本格募集開始、カリキュラムの精緻化、様々な主体への広報および連携・共創構築等）にし、庁内外に積極的に推進状況を発信しつつ、設置準備を更に前進させる。</p> <p>○【見直し・効率化】各種資料のペーパーレス化、共有化の推進</p> <p>目標：</p> <p>県と法人双方の担当職員が互いのオフィスを行き来し、一体となって業務遂行が出来るよう、各種資料の更なるペーパーレス化、共有化の徹底</p>

所属名	国際課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○世界から選ばれる滋賀の多文化共生社会づくり</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人県民等の「人権」と「幸せ」を大切にする多文化共生社会の実現に向けた道筋を「改定版多文化共生推進プラン」に取りまとめ、その推進により世界から選ばれる滋賀を目指す。 ・外国人県民等が日本語教育を受けられる機会を創出する（モデル事業として初級レベルの日本語講座（県内2地域）、日本語学習支援者セミナー（5回）を実施）。
	<p>○世界とつながる、海外との交流再起動</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日米中西部会でのトッププロモーションや、オーストリア等との新たな友好交流に向けた取組、姉妹友好提携州省との交流発展に取組む。 ・来年度に予定されている、大阪・関西万博での国際交流、RS州との45周年記念事業、湖南省での戦後80年平和祈念事業に向けて着実な準備を進める。 ・各部局の「世界とつながる」取組みをサポートする。 ・「各国・地域との交流の考え方」を作成して各部局と共有する。
	<p>○県民の「世界とつながる」を下支えする旅券発給</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代旅券導入等の制度改正に適切に対応し、円滑かつ過誤件数ゼロの旅券発給を堅持する。
	<p>○【見直し・効率化】世界と伍する人材の育成</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が海外との協議交渉や、外国人県民等に対する行政サービス提供に世界共通語である英語で対応できるよう、ミシガン州立大学連合日本センター（JCMU）と連携して、職員の英語リテラシーや国際感覚向上に取組む。

所属名	県民活動生活課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○犯罪抑止対策の推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刑法犯認知件数を再び減少傾向にもちこむ（令和6年犯罪抑止目標）
	<p>○県史編さん事業の推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料編（戦前）の発行に向けた資料調査および情報発信等の推進
	<p>○【見直し・効率化】各種資料のペーパーレス化</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議資料等のペーパーレス化の検討 ・審議会資料の電子化の検討

所属名	CO2ネットゼロ推進課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○地域課題の解決につながる再エネ導入の推進 目標： ・ 温対法に基づく再エネ導入の「促進区域」の設定について具体的な議論を行う市町：3市町
	○ムーブメント拡大に向けたCO ₂ の「見える化」の取組の実施 目標： ・ 「ネットゼロフォーラムしが」において「見える化」に取り組む事業者の数 10社 ・ 次世代リポーターが情報発信するCO ₂ ネットゼロに取り組む事業者の数 5社
	○水素エネルギーの拠点整備プロジェクトの創出に向けた検討 目標： ・ プロジェクト創出に向けて組成するコンソーシアムへの参加企業・団体数：10団体
	○【見直し・効率化】県施設における照明のLED化 目標： ・ 県有施設の照明LED化（約3万灯）を一括調達

所属名	人権施策推進課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○人権意識の高揚 目標： 人権施策推進計画(改定後)に掲げる19分野（項目）のすべてについて啓発を実施
	○人権侵害に関する相談・支援体制の充実 目標： ・ 人権相談ネットワーク協議会研修会での受講者満足度 90% ・ 地域総合センター職員研修会での受講者満足度 90%
	○性の多様性に関する理解増進 目標： ・ 「滋賀県パートナーシップ宣誓制度」の導入 ・ 性の多様性に関する県民の理解増進のための啓発の実施
	○【見直し・効率化】ペーパーレス協議による業務の効率化 目標： 課内協議に占めるペーパーレス協議の実施比率 95%

所属名	DX推進課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○セキュリティの確保 目標： ・ 利便性向上に伴うサイバー攻撃等による事務事業への重大影響および情報流出の発生件数年間0件
	○手のひらスマート県庁の推進 目標： ・ 電子納付が可能な手続数：20業務（R6）、80業務（R7）（2年間合計100業務）
	○地域との協働によるDXの推進 目標： 「滋賀県DX官民協創サロン」を活用した県、市町や企業のDX推進等の取組の支援数：30件
	○【見直し・効率化】 目標： ・ 想定問答等の文書作成補助への生成AIの活用：毎議会

所属名	統計課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○EBPMの支援</p> <p>「EBPMに係るデータ分析・研究支援検討会」で</p> <p>目標： 助言・支援等を行った件数 10件 データ分析実践セミナー受講者 60名</p>
	<p>○周期調査の着実な実施と国勢調査に向けた体制整備</p> <p>目標： 全国家計構造調査（令和6年10月、11月）の着実な実施 農林業センサス（令和7年2月）の着実な実施 R7国勢調査に向けて県内全市町に必要な体制整備の働きかけを行う</p>
	<p>○【見直し・効率化】レイアウト変更による執務室の改善</p> <p>目標： 課内に検討チームを立ち上げ、係ごとの業務の関連性を考慮した機能的レイアウトを導入する</p>